

# ジェノグラム

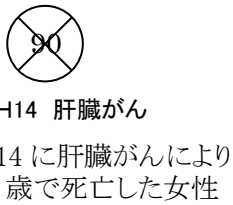
原則として3世代程度をさかのぼる家族員(血縁ではなくとも同居人、家族との関係が深い人を含む)の家系図を「ジェノグラム」と言う。ジェノグラムを作成すると家族関係が一目瞭然となり、問題を整理したり、家族の誰に働きかけたらよいかなどの支援策を検討したりするのも役立つ。

## ○書き方

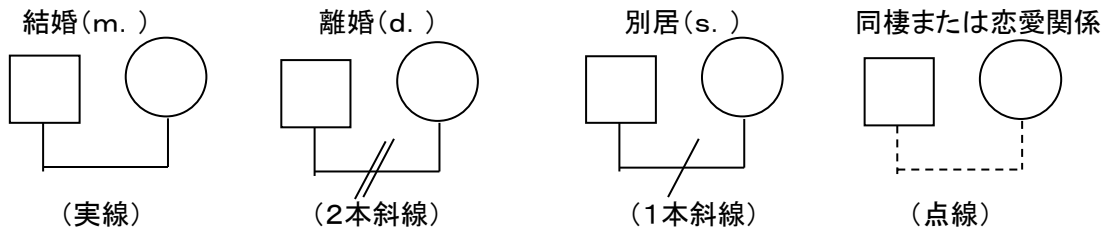
・男性は□、女性は○で表す。利用者は二重線で表現する。年齢を記号内に記載する。



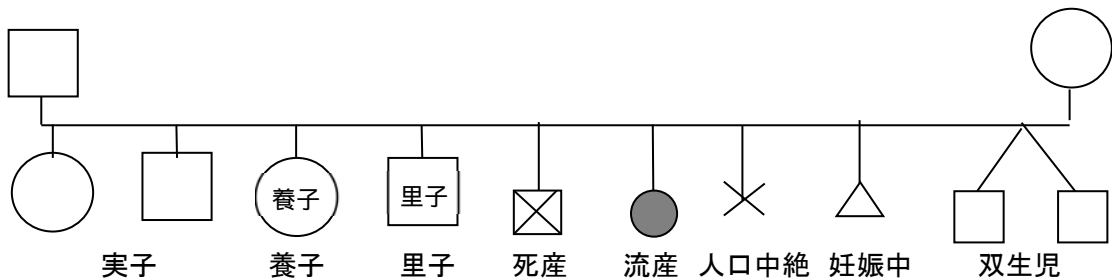
・死去は記号に×をする



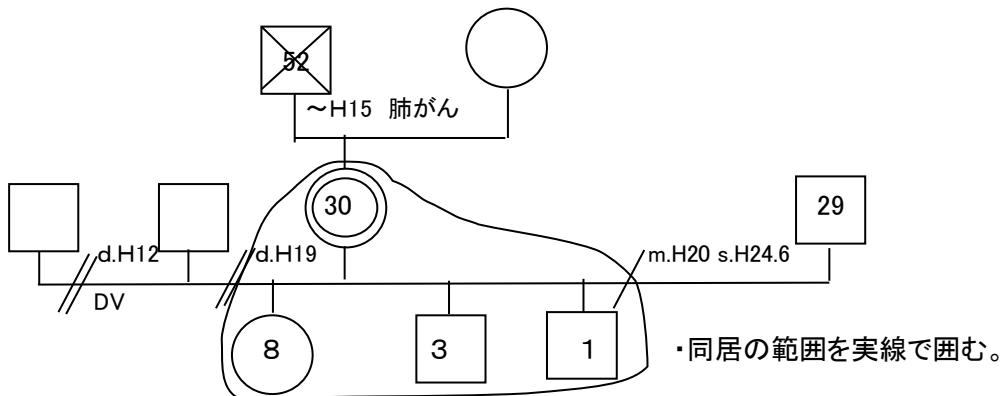
・婚姻関係は横線でつなぐ。離婚は横線を2本斜線で切る。



・子どもなどは出生順に左から配置する



## ○作成例



・利用者を取り巻く家族環境として重要な情報を追記する。

- ①年齢
- ②職業
- ③出身地
- ④結婚のいきさつ: 見合い・恋愛・できちゃった婚 など
- ⑤別居の理由: 夫の暴力・妻の浪費 など
- ⑥離婚: 離婚に至ったいきさつ・協議離婚・調停離婚  
(主な争点・申立人・親権をめぐる対立かどうか) など
- ⑦転居
- ⑧収入・学歴: ローンの返済 など
- ⑨非行・犯罪歴
- ⑩命日・死亡原因: 事故死・自殺・病死(病名) など
- ⑪子の名付け: 誰が名付け親なのか、命名に込められた期待などが重要
- ⑫疾病の有無

## 社会関係図(エコマップ)

エコマップは、支援を要する家族を中心として、その家族の問題や解決に関わると考えられる関係者や関係機関を記載したもの。

図式化することにより、全体の関係性を簡潔に把握することができ、各機関の役割を検討するうえでも有効になる。適宜作成し、比較すると、支援の過程を通じた関係機関の関わりの変化を確認することができる。

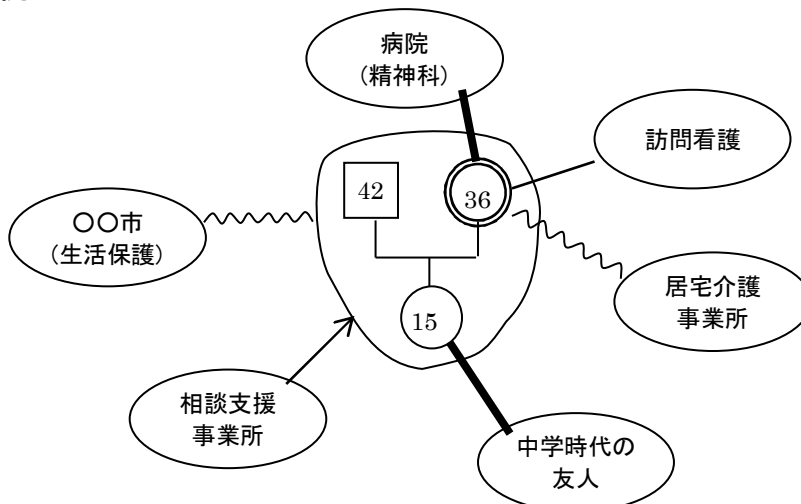
### ○書き方

・凡例

- 強い関係
- 普通の関係
- - - - - 希薄な関係
- ~~~~~ ストレスや葛藤がある関係
- +++++ 対立関係
- 働きかけの方向

・公的機関だけでなくインフォーマルで関わりのある資源も記載する

### ○作成例



## 「100文字要約」=短文作成法について

100字要約は、事例の概要を、本人の言葉で（主語は“ I ”）、過去・現在・未来を含めて、およそ100文字（80～120文字）にまとめたものです。

限られた文字数にコンパクトにまとめることで、何が重要なのか？情報の優先順位がわかってきます。

「わかる」ということは「分ける」というのが語源だそうです。

なるほど、そう考えると事例の中で出てくるたくさんの情報がある基準（事例理解に大事であるか否か）で「分けて」いく作業が「わかる」ための作業であることに気がつきます。

アセスメントの要約は、たくさんあるニーズアセスメント情報の中から事例の核心部分となる重要なキーワードを他の言葉とより分けてそのエッセンスをコンパクトに表現したものです。究極のわかる作業ともいえます。

ズレをコンパクト（100字程度）に表現できること

≡

事例をとらえている（わかっている）

（「ミスポジション論」駒澤大学 佐藤光正より）

### ☆ 参 考 ☆

#### 例

私は、今自宅で弟と2人で暮らしている。父が死んでから、弟とおばさんが施設に入れようとしたけど、このままの生活でどうしてだめなんだろう。自分の家だし、好きなコンサートとか行きながら、ここで暮らしたい。（知的障がい 女性 59歳 97文字）

毎日退屈だなあ。この町に来たら仕事をして、お給料で大好きなポケモングッズを買って楽しくしているはずだったのに…。こんなことだったら、A施設にいた方がましだったかも。おばあちゃんもうるさいし、早く仕事決まらないかなあ。（知的障がい 女性 28歳 108文字）

僕はいま自立するため、家族から離れて帯広で暮らしています。早く春になって本格的な農作業をやりたいと思ってるんですね。作ったとうきびを家族に送ってやりたいんです。いつかは働いて、母親と一緒に暮らせるようになりたいと思っています。（統合失調症 男性 43歳 114文字）

#### よくない例

本人は、入院しないで今のままの生活を続けたいと思っている。日常生活は自立しているし、金銭管理も可能なので現在一人暮らしは可能である。さみしいという気持ちが強いが経済的な問題で外出に制限があるため本人が気を許せる慣れた人に来て欲しいと希望している。母の死後は、一人の生活を作っている最中でもあり、ニードや意欲の低下が予想される。不安定な状況である。（173字、精神障害、統合失調症のある人）

主語がIではない 文章が長い 焦点がよくわからない